報　告

祖父母の世代間調整役割に関する考察

―青年期の女子の孫を対象とした質問紙調査をもとに―

諏澤宏恵[1,2]

〔論文要旨〕

本研究では，女子の孫の認知する祖父母の世代間調整役割について検討することを目的に，両親の夫婦仲，母親―父方祖父母（嫁―姑舅）関係と，祖父母・母親の養育態度，孫の対人特性について，大学・専門学校生の女子を対象に質問紙調査を実施した。

その結果，父方祖母の＜暖かい＞養育態度と，孫の≪社交性≫との関連が示された。また，両親の関係が悪い場合も，祖母との接触が多かった孫では，母親の＜暖かさ＞は，両親の仲が良い群と同程度に母親の＜暖かさ＞を評価していた。一方で，祖父の養育態度と孫の対人特性間に有意な関連はみられなかった。これらより，特に女孫と母親の系譜上で，祖母が家族間の相互作用において重要な調整役割（mediator）を果たしていることが示唆された。

Key words：世代間調整役割，祖父母，対人特性，養育態度

Ⅰ．はじめに

これまで，養育態度の世代間伝達は，子どもの虐待や育児不安といった親の態度を説明する因果モデルとして検討され，親から受けた厳しいしつけや過保護といった養育特徴は，子どもの発達や人格形成に影響し，将来の養育態度を規定することが知られている[1]。

Vermulst[2]は，Belsky[1]のモデルをもとに，祖母―母の養育態度の世代間伝達と孫の行動特性を検討し，祖母の〈慣習に従う〉人格特性が，母親のネガティブな養育態度〈厳格さ〉に影響することを明らかにした。反面，母親のポジティブな養育態度は，〈慣習に従う〉人格特性を基に母親の〈心理的健康〉を保ちながら孫の行動特性に反映され，結果として，母親は従順な孫の態度に〈愛情〉を感じることを説明した。

このことは，親役割において検討されてきた，mediatorとして世代間関係を良好に保つ調停者役割[4~7]が，祖母にも存在することを示唆している。

また，養育態度は世代間において，因果のように主従の方向のみならず，祖父母世代と，親世代，孫世代と相互に影響し合う可能性を秘め，祖父母がstress-buffersとなり家族機能を調整する働きも明らかにされている[8]。さらに，祖父母には，文化や歴史伝達を通して孫の社会化を促進する役割があり[9~13]，親世代と孫に対して，それぞれに見合った調整や意図が働いていると考えられる。そのため，Vermulst[2]のモデルは，養育機能のもつ社会化の一部を示したにすぎず，ネガティブ・ポジティブな養育態度が，子どものどのような対人特性に影響するのかの内実は明らかでない。

A Study on Grandparental Mediation in Grandchildren-Parents Interactions
― Based on a Questionnaires to Granddaughters ―

〔2407〕
受付 12. 2. 6
採用 13. 1.30

Hiroe SUZAWA
1）奈良女子大学大学院人間文化研究科（大学院生）
2）国立保健医療科学院協力研究員
別刷請求先：諏澤宏恵　奈良女子大学大学院人間文化研究科　〒630-8506 奈良県奈良市北魚屋東町
Tel：0742-20-3911　Fax：0742-20-3234

Presented by Medical*Online

そこで本研究では，青年期の女子の孫を対象に，(1) 祖父母と親（母）の養育態度が孫のどのような「対人特性」に影響するのか，(2) (1) の結果に，「両親の夫婦仲」，「嫁―姑舅（母親―祖父母）関係」が影響するのかを検討した。すなわち，母方祖父母と母親の養育態度の相関が高い場合は，養育態度の世代間伝達というタテの因果的関連が予想される。対照的に，祖父母が mediator として父方母方の別なく，親世代と孫世代に対するタテ・ヨコの調整役割を発揮するならば，両親の夫婦仲が不良であっても祖父母・母親の養育態度に負の変化はみられないと予想する。

Ⅱ．方　　法

1．対象者

青年期は親からの心理的離乳の時期であり[14]，対人社会化において重要な節目の時期であることや，就職・結婚など経済的自立への準備期にあり主体的な生き方の転換へ向けた社会化側面をもつ年齢にあることから，大学生および看護専門学校生を対象とした。

2．調査方法

親との心理的葛藤や家族との関係の修正の時期とされる中学生[15]の頃を回顧し，主たる養育者（親）および最も接触の多かった祖父母一人の養育態度（改変 Parental Bonding Instrument）[16]，現在の対象者の対人特性[17]，両親および母親と父方祖父母（舅姑）の関係の良否「仲が良い，悪い，どちらともいえない」について，2011年8月に自記式質問紙調査を近畿地方の大学と看護専門学校の学生を対象に実施した。調査協力者の講義後，調査趣旨，匿名性，任意性を説明し，同意の得られた学生にのみ調査用紙を配布し，大学においては当日回収し，看護専門学校では配布1週間後に回収を行った。

3．分析方法

欠損データがあった16名と，男女比と主たる養育者（父母）比の不均衡から男子21名，母親以外の養育者を選択した32名を除く女子179名を分析対象とした。統計解析には PASW Statistics18を用いた。

Ⅲ．結　　果

1．各変数と属性の記述統計量

対象者女子（以下，孫）179名のうち，18～20歳が70名，21～29歳が73名，30歳以上が36名であった。

最も接触の多かった祖父母として選択されたのは，父方（祖父21名，祖母68名），母方（祖父26名，祖母64名）であった。また，同居祖父母は，父方33名，母方21名であり，全体の3割であった。

表1　親の養育態度の因子構造
（主因子法：バリマックス回転）

	Ⅰ	Ⅱ
第1因子：暖かさ　(M=18.76, SD=6.10)		
P3私といろいろなことを話すのを楽しんでいた	.84	.07
P1よく私に微笑みかけてくれた	.82	.16
P16私に優しかった	.80	-.03
P6暖かい声で話しかけてくれた	.79	.00
P13あまり私としゃべらなかった	-.76	.26
P2私に対して冷たかった	-.74	.01
P12ほめてくれなかった	-.65	.14
P9私が精神的に不安定なときはなだめてくれた	.63	-.14
P8私の悩みに理解を示してくれた	.63	-.27
第2因子：過干渉（M=4.42, SD=2.50）		
P15私に対して過保護だった	.17	.60
P4私を子ども扱いしがちだった	.02	.53
P5私のプライバシーを侵害していた	-.33	.51
P11私の全てをコントロールしようとした	-.31	.47
因子寄与	5.21	1.34
寄与率（%）	40.07	10.28
信頼性係数（α）	.92	.61

表2　祖父母の養育態度の因子構造
（主因子法：バリマックス回転）

	Ⅰ	Ⅱ
第1因子：暖かさ　(M=20.37, SD=5.22)		
G1よく私に微笑みかけてくれた	.85	.07
G3私といろいろなことを話すのを楽しんでいた	.78	.11
G16私に優しかった	.74	-.12
G2私に対して冷たかった	-.74	.20
G6暖かい声で話しかけてくれた	.71	.01
G13あまり私としゃべらなかった	-.66	.14
G9私が精神的に不安定なときはなだめてくれた	.55	.05
G8私の悩みに理解を示してくれた	.55	-.02
G12ほめてくれなかった	-.55	.19
第2因子：過干渉（M=3.33, SD=2.19）		
G4私を子ども扱いしがちだった	.04	.59
G15私に対して過保護だった	.19	.56
G11私の全てをコントロールしようとした	-.24	.48
G5私のプライバシーを侵害していた	-.28	.31
因子寄与	4.43	1.12
寄与率（%）	34.08	8.59
信頼性係数（α）	.88	.54

Presented by Medical*Online

表3　対人特性の因子分析（主因子法：プロマックス回転後の因子パターン）

	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
第1因子：引っ込み思案　（M=11.58，SD＝3.94）					
C26引っ込み思案である	.73	.16	.11	-.07	-.08
C29自分で話すより人の話を聞く方である	.69	-.21	.20	.09	-.06
C12口べたである	.68	.07	.02	.03	.12
C9無口な方である	.60	-.19	-.08	-.02	-.14
C28人と交渉するのが苦手である	.51	.06	-.23	-.05	.04
C16人に見られるとうまくいかない	.40	.00	.10	-.23	.14
C14気がきかない方である	.38	.25	-.27	.07	-.05
第2因子：わがまま（M=6.74，SD＝2.45）					
C4よくすねる	.10	.69	.21	-.12	.08
C13よく腹を立てる	-.15	.68	-.02	-.02	-.00
C24わがままな方である	-.07	.67	-.15	.11	-.05
C11けちな方である	.25	.38	-.04	.06	.05
第3因子：世話好き（M=3.67，SD＝1.36）					
C22世話好きである	.01	-.01	.65	.01	.03
C5人から相談されることが多い	.14	-.01	.63	-.04	-.02
第4因子：社交的（M=5.16，SD＝2.20）					
C19知らない人でも気軽に話せる	.03	.08	-.00	.82	-.05
C1初めての人でもすぐうちとける	-.07	-.06	.04	.76	.04
C15愛想がよい	-.21	-.01	.23	.35	.09
第5因子：共同志向（M=5.21，SD＝2.00）					
C20何をするにしても自分ひとりで決める	.08	.10	-.01	.19	-.74
C10何かを決めるとき誰かに相談することが多い	.04	.17	-.08	.09	.69
C23ひとりでいても寂しくない	-.05	-.01	-.11	-.15	-.48
因子寄与	3.97	1.99	3.00	3.25	1.56
信頼性係数（α）	.79	.69	.48	.78	.65
因子間相関	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ
Ⅰ		-.11	-.57	-.59	.08
Ⅱ			.02	.04	.26
Ⅲ				.56	.01
Ⅳ					.04

家族関係に関しては，両親の不仲を挙げたものは19名（10%），どちらともいえない55名（30%）であり，母親と姑の不仲は29名（16%），どちらともいえない91名（51%），母親と舅の不仲は15名（８%），どちらともいえない112名（62%）であった。また，母親と姑の価値観が全く違うと回答したものが58名（32%），嫁―舅では46名（26%）であり，いずれも不仲であることよりも割合が多かった。

2．尺度の信頼性および因子構造（表1，2，3）

改変PBI（親，祖父母）各16項目について主因子法による因子分析を行った。共通性の低い３項目を削除し，プロマックス回転を行い，固有値の減衰状況から２因子解を採用した。

２つの因子間相関は（親：－.16，祖父母：－.14）であり，直交が予想されたため，バリマックス回転を再度行った。その結果，２因子に高い負荷を示した「私が望んでいることに理解を示してくれなかった」を除く13項目を採用した。各因子名は，＜暖かさ＞（親α＝.92，祖父母α＝.88），＜過干渉＞（親α＝.61，祖父母α＝.54）とし，累積寄与率は（親50.3%，祖父母42.6%）であった。

対人特性尺度は，因子間相関が高く，プロマックス回転により，固有値の減衰状況から５因子解を採用した。29項目のうち，共通性の低い10項目と，２因子に高い負荷を示した１項目を除く13項目を採用した。因子名は，先行研究[17]に対応し≪引っ込み思案≫（α＝.79），≪わがまま≫（α＝.69），≪世話好き≫（α＝.48），≪社交的≫（α＝.78），≪共同志向≫（α＝.65）とした。

Presented by Medical*Online

表4　祖父母（GP）の属性別にみた母親と祖父母の養育態度の平均・標準偏差の比較

	祖父 (n=47)		祖母 (n=132)		t	父方 (n=89)		母方 (n=90)		t	同居 (n=54)		別居 (n=125)		t
	M	(SD)	M	(SD)		M	(SD)	M	(SD)		M	(SD)	M	(SD)	
親の暖かさ	18.89	(6.60)	18.72	(5.94)	.17	18.53	(5.77)	19.00	(6.43)	-.52	18.87	(5.97)	18.72	(6.18)	-.15
親の過干渉	4.55	(2.68)	4.37	(2.45)	.43	4.75	(2.72)	4.09	(2.24)	1.78	4.48	(2.49)	4.39	(2.52)	-.22
GP の暖かさ	20.40	(6.29)	20.36	(4.82)	.04	19.74	(5.26)	21.00	(5.14)	-1.62	20.50	(5.05)	20.32	(5.32)	-.21
GP の過干渉	3.23	(2.32)	3.36	(2.15)	-.35	3.31	(2.19)	3.34	(2.20)	-.09	3.67	(2.39)	3.18	(2.09)	-1.36

3．祖父母の属性別にみた母親・祖父母の養育態度の相違

孫が選択した祖父母の属性別（父方母方，性別，同・別居）に，母親の養育態度の相違について，t 検定を行った。その結果，祖父母の属性（父方母方，性別，同・別居）による母親・祖父母の養育態度の平均に有意差はなかった（表4）。

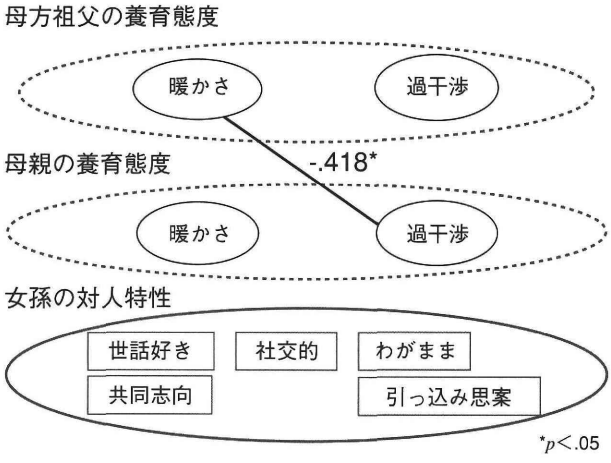

図1　母方祖父を選択した女孫の対人特性と養育態度の相関

4．孫の対人特性と母親・祖父母の養育態度の関連

最も接触の多かった祖父母の属性を父方祖父（n＝21），父方祖母（n＝68），母方祖父（n＝26），母方祖母（n＝64）の4類型に分け，母親と祖父母の養育態度と孫の対人特性との関連をみるために相関分析を行った。その結果，父方祖父と孫の対人特性との有意な関連は示されず，母方祖父の＜暖かさ＞と母親の＜過干渉＞に中程度の負の相関（$r = -.418$, $p < .05$）がみられた（図1）。祖父と接触の多かった群では，父方・母方いずれも孫の対人特性と母親・祖父母の養育態度に有意な関連はなかった。

反面，父方祖母と接触の多かった群では，祖母と母親の＜暖かさ＞と孫の≪社交性≫（GP $r = .250$, $p < .05$，親 $r = .264$, $p < .05$）に弱い関連がみられ，母親と父方祖母の＜暖かさ＞（$r = .293$, $p < .05$）に有意な関連がみられた（図2）。

一方，母方祖母と接触の多かった孫では，母方祖母と母親の＜暖かさ＞（$r = .298$, $p < .05$）および＜過干渉＞（$r = .465$, $p < .01$）に有意な関連がみられたが，母方祖母と孫の対人特性には有意な関連がみられなかった（図3）。

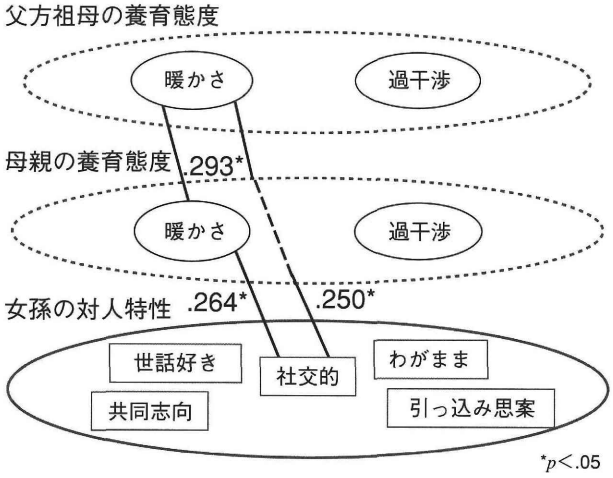

図2　父方祖母を選択した女孫の対人特性と養育態度の相関

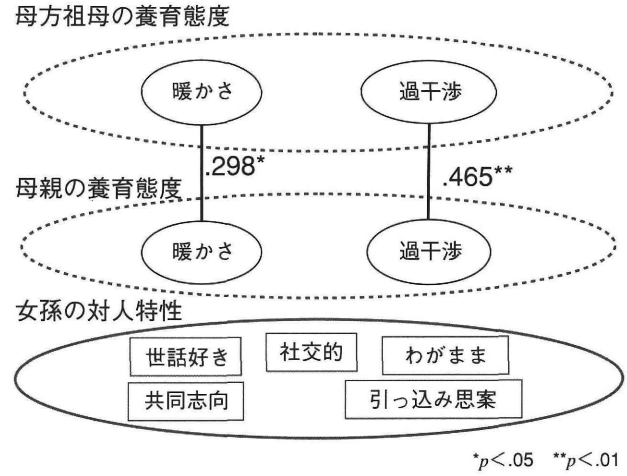

図3　母方祖母を選択した女孫の対人特性と養育態度の相関

Presented by Medical*Online

表5　両親の関係性と母親／祖父母（GP）の養育態度についての分散分析

	祖父（n=47）		祖母（n=132）					
	M	(*SD*)	*M*	(*SD*)	主効果	*F*（2,173）	交互作用	*F*（2,173）
母親の暖かさ								
両親の仲が良かった	21.15	(1.13)	20.10	(0.65)	①祖父母の性別	n.s	①×②	3.65*
両親の仲が悪かった	11.67	(2.35)	18.46	(1.60)	②両親の関係性	9.61**		
どちらともいえない	17.87	(1.49)	16.07	(0.91)				
母親の過干渉								
両親の仲が良かった	4.12	(2.44)	4.39	(2.62)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
両親の仲が悪かった	5.50	(2.95)	4.77	(2.49)	②両親の関係性	n.s		
どちらともいえない	4.93	(2.99)	4.20	(2.11)				
GPの暖かさ								
両親の仲が良かった	21.85	(1.00)	21.49	(0.57)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
両親の仲が悪かった	18.50	(2.08)	17.77	(1.41)	②両親の関係性	6.16*		
どちらともいえない	18.67	(1.31)	18.98	(0.80)				
GPの過干渉								
両親の仲が良かった	2.69	(1.89)	3.35	(2.24)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
両親の仲が悪かった	3.67	(2.07)	3.15	(2.41)	②両親の関係性	n.s		
どちらともいえない	4.00	(2.93)	3.45	(1.92)				

*$p < .05$　**$p < .01$

5．両親の夫婦関係と母親・祖父母の養育態度（表5，6，図4，5，6）

祖父母のmediator役割として仮説にあげた，祖父母と親（子）世代の夫婦仲の関連を検討するために，母親の養育態度＜暖かさ，過干渉＞を従属変数として，両親の関係性（仲が良い，悪い，どちらともいえない）と，祖父母の性別，父母方による2要因の分散分析を行った。

その結果，父方・母方祖父母の別による交互作用効果はみられなかった。その一方で，母親の＜暖かさ＞平均において，祖父母の性別と両親の関係性の交互作用が有意であった（F（2,173）＝3.65，$p < .05$）。さらに，単純主効果検定を行った結果，両親の関係が悪い群において，祖母とのかかわりが多いと回答した孫ほど，母親の＜暖かさ＞平均が高かった（F（1,173）＝5.73，$p < .05$）。

次に，祖父母の養育態度＜暖かさ，過干渉＞を従属変数として，両親の関係性と祖父母の性別による2要因の分散分析を行った結果，祖父母の＜暖かさ＞平均において，交互作用効果は有意でなく，両親の関係性の主効果が有意であった（F（2,173）＝6.16，$p < .05$）。さらに多重比較の結果，「両親の仲が良かった」と「悪かった」（t（3）＝3.58，$p < .05$）および，「両親の仲が良かった」と「どちらともいえない」（t（3）＝2.69，$p < .05$）に有意差がみられた。

他方，祖父母・母親の＜過干渉＞平均は，両親の関係性と祖父母の属性による有意差はみられなかった。

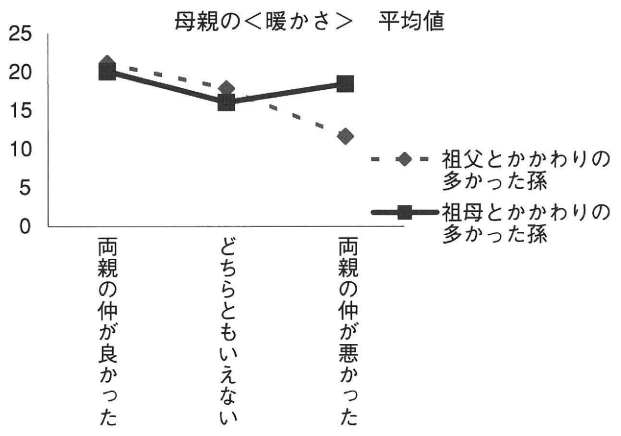

図4　両親の関係性と母親の養育態度

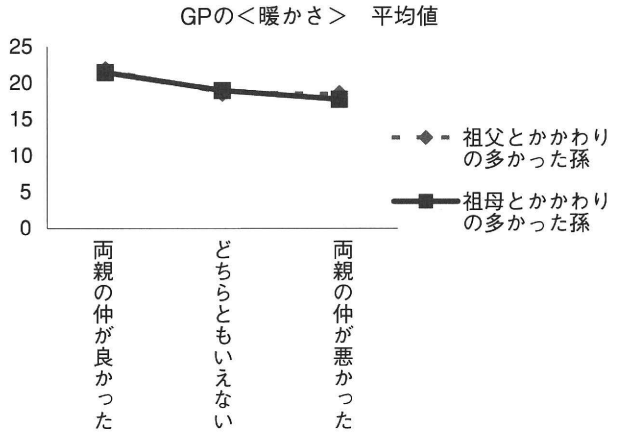

図5　両親の関係性と祖父母の養育態度

Presented by Medical*Online

表6　母親の嫁姑・舅関係性と母親の養育態度についての分散分析

	祖父（n=47）		祖母（n=132）					
	M	(*SD*)	*M*	(*SD*)	主効果	*F* (2,173)	交互作用	*F* (2,173)
母親の暖かさ								
嫁姑の仲が良かった	19.31	(5.47)	19.40	(5.89)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
嫁姑の仲が悪かった	19.75	(2.63)	18.12	(6.35)	②嫁姑の関係性	n.s		
どちらともいえない	18.52	(7.66)	18.51	(5.86)				
母親の過干渉								
嫁姑の仲が良かった	4.00	(2.63)	4.36	(2.25)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
嫁姑の仲が悪かった	5.75	(2.75)	4.80	(2.97)	②嫁姑の関係性	n.s		
どちらともいえない	4.70	(2.71)	4.22	(2.37)				
母親の暖かさ								
嫁舅の仲が良かった	17.50	(7.81)	19.03	(5.20)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
嫁舅の仲が悪かった	15.33	(5.85)	19.78	(4.66)	②嫁舅の関係性	n.s		
どちらともいえない	20.64	(5.54)	18.48	(6.36)				
母親の過干渉								
嫁舅の仲が良かった	4.19	(2.61)	4.58	(2.37)	①祖父母の性別	n.s	①×②	n.s
嫁舅の仲が悪かった	6.00	(3.22)	3.78	(2.68)	②嫁舅の関係性	n.s		
どちらともいえない	4.44	(2.58)	4.34	(2.48)				

6．嫁（母親）姑・舅関係と母親の養育態度（図6）

祖父母のmediator役割について，両親の関係性との結果の相違を検討するために，母親・祖父母の養育態度＜暖かさ，過干渉＞を従属変数として，嫁・姑舅の関係性（仲が良い，悪い，どちらともいえない）と，祖父母の性別による2要因の分散分析を行った。

その結果，母親の養育態度の平均は，父方・母方祖父母の別においても，祖父母の性別でも，嫁姑舅関係の主効果・交互作用とも有意ではなく，群間における有意差はみられなかった。

以上，祖父母と母親の養育態度の相関が高い場合は，養育態度の世代間伝達が強く影響すると仮説設定し，父方母方祖父母の属性別に，両親の夫婦仲や母親との嫁姑舅関係による相違がみられるかについて検討した。

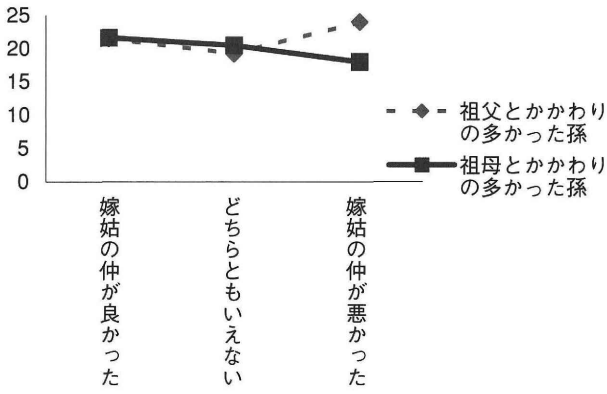

図6　母親と姑（父方祖母）の関係性と祖父母の養育態度

その結果，祖父母と母親の養育態度は，＜暖かさ＞においては父方・母方祖母と母親間に有意な相関がみられ，母方祖母―母親においては，＜過干渉＞に中程度の相関がみられた。

Ⅳ．考　　察

こうした，母方祖母―母の養育態度の密接な関連は，ネガティブな養育態度の母娘間世代伝達[2]を追認するものであるが，一方で，父方祖母（姑）―母親の＜暖かさ＞と孫の≪社交性≫に関連がみられたことは，嫁姑関係を社会的参照とする孫の対人社会性への影響が考えられる。

また，両親の仲が悪い場合の祖父母の＜暖かさ＞平均に祖父母の性差はみられなかったが，母親の＜暖かさ＞平均は，祖母との接触が多かった孫の方が，両親の関係が悪い場合も，両親の仲が良い群と同程度に母親の＜暖かさ＞を評価していた。換言すれば，両親の仲をとりもつmediator役割は，主に祖母を通じて母親の養育態度に媒介的に働くmediator役割について一定の仮説を得た。すなわち，祖父母は，親世代の親として養育機能をタテに伝承するのみならず，両親の夫婦仲に媒介的に働きかけ，母親の養育態度を中和するような養育にかかわる世代間調整役として，親の態度に影響しているのではないかと考えられる。さらにそれは，父方祖母―母親の＜暖かさ＞と孫の≪社交

Presented by Medical*Online

性≫の関連という結果において，母―娘の系譜にとどまらず，祖母の行動を孫が学習し，さまざまな人とのコミュニケーションも臆さず≪社交的≫態度を培っているとも考えられ，祖母の無意図的な世代間調整といえる。

このことはまた，母親と姑の不仲16%，母親と舅の不仲９%に比べ，母親と姑の価値観の違いが33%（母―舅では26%）という結果からも推察され，価値観の相違を超えて両者が歩み寄る様を孫が学習しているのかもしれない。

義理の関係性（嫁―姑・舅，婿―義理親）の子どもへの影響は，血縁を超えた知見が少ないが，母と姑の関係は，孫と父方祖母（姑）との近接性を予測することを示唆する研究もある[18]。

さらに，孫の対人特性と，両親の夫婦仲に有意な関連がみられなかったことは，特に母方祖母が両親の夫婦仲を中和する mediator 機能を果たしており，そのことが，ネガティブな対人特性への傾きを和らげたとも推測される。

祖母のかかわりは，孫のネガティブな情緒的反応や社会的能力の関連を減じ，母親の厳しい養育と孫の問題行動の発生を防ぐとされる[19]。また，特に思春期において，祖父の介入は，父性同様に女子の孫に疎んじられる傾向にある[20]ことからも，祖母の両親間の介入が孫の思春期の対人特性にポジティブに関与していると考えられる。

また，孫の対人特性と養育態度および両親や嫁姑仲の関連や群間比較において，祖父母との同居・別居形態による有意差が全くみられなかったことから，核家族であっても，祖父母の mediator 役割が機能していることが推察された。

先行研究においては，母親の養育態度が受容的な場合，女児はわがままだが世話好きとされる[17]。本研究では，父方祖母と母親の＜暖かさ＞が≪社交性≫に関連していたものの，ネガティブな対人特性には関連しておらず，先行研究とは異なる結果であった。背景には，本研究は回顧的データによる養育態度を指標としており，一方で対人特性は現時点の自己評価をもとにしているため，先行研究と一概に比較できないが，母親と祖父母の交流頻度の地域差や物理的距離などを含め，今後の検討課題としたい。

以上本稿では，女子の孫と母親に絞り，祖父母の mediator 役割を検討したが，単に母親の養育態度と回答者の対人特性の関連は直線的なものではなく，特に母親の養育態度と母方・父方祖母の養育態度が，両親の夫婦関係を介して女子の孫の対人特性に輻輳的に関連していることがわかった。

Ⅴ．今後の課題

本研究は横断的調査に基づくものであり，女子の孫の認知する祖父母・母親の態度を変数としたため，祖父母の mediator 役割の因果関係には触れていない。

今後は，祖父母・親世代・孫世代の３世代をペアとするデータによる客観性を確保しながら，男子の孫や，地域差や祖父母の出生コホートにまで対象を広げ，孫の対人特性に寄与する祖父母の mediator 役割についてさらに検証していく。

文　献

1) Belsky J. The Determinants of Parenting：A Process Model. Child Development 1984；55：83-96.
2) Vermulst AA, deBrock AJLL, vanZutphen RAH. Transmission of Parenting across Generations. Smith PK, eds. The Psychology of Grandparenthood：An International Perspective. Routledge 1991：100-122.
3) Ziegler E, Child LL. Socialization. Lindzey G, Aronson E, eds. The Handbook of Social Psychology. 2nd ed, Addison Wesley 1969：450-589.
4) Gilford R, Black D. The Grandchild-Grandparent Dyad：Ritual or Relationship? 25th Annual Meeting of the Gerontological Society. Puerto Rico：San Juan, 1972.
5) Hill R, Foote N, Aldous J, et al. Family Development in Three Generations. Cambridge. MA：Schenkman, 1970.
6) Robertson JF. Interaction in Three Generation Families, Parents as Mediators：Toward a Theoretical Perspective. International Journal of Aging and Human Development 1975；6：103-110.
7) Monserud MA. Intergenerational Relationships with Grandparents and Young Adults. Journal of Marriage and the Family 2008；70：182-195.
8) Hetherington EM, Cox M, Cox R. Long-Term Effects of Divorce and Remarriage on the Adjustment of Children. Journal of the American Academy of

Presented by Medical*Online

Child Psychiatry 1985；24（5）：518-530.
9) Kivnick HQ. Grandparenthood：An Overview of Meaning and Mental Health . The Gerontologist1982；22（1）：59-66.
10) Hagestad GO, Neugarten BL. Aging and the Life Course. Shanas E, Binstock R, eds. Handbook of Aging and the Social Science. NY：Van Nostrand Reinhold, 1985.
11) Strom RD. Building a Theory of Grandparent Development. The International Journal of Aging and Development 1997；45（4）：255-286.
12) 田畑　治，星野和美，佐藤朗子，他．青年期における孫・祖父母関係評価尺度の作成．心理学研究 1996；67（5）：375-381.
13) 前原武子，金城育子，稲谷ふみ枝．続柄の違う祖父母と孫の関係．教育心理学研究　2000；48（2）：120-127.
14) 落合良行，佐藤有耕．親子関係の変化からみた心理的離乳への過程の分析．教育心理学研究　1996；44：11-22.
15) Hollingworth LS. The Psychology of the Adolescent. New York：Applepton, 1928.
16) 菅原ますみ，八木下暁子，詫摩紀子，他．夫婦関係と児童期の子どもの抑うつ傾向との関連：家族機能および両親の養育態度を媒介として．教育心理学研究　2002；50：129-140.
17) 森下正康．中学生における親の養育態度と対人特性の同一視．教育心理学研究　1982；30（2）：52-56.
18) Monseroud MA. Intergenerational Relationship and Affectual Solidarity between Grandparents and Young Adults. Journal of Marriage and the Family 2008；70, 182-195.
19) Barnett MA, Neppl TK, Scaramella LV, et al. Grandmother Involvement as a Protective Factor for Early Childhood Social Adjustment. Journal of Family Psychology 2010；24（5），635-645.
20) Clingempeel WG, Colyar JJ, Brand E, et al. Children's Relationships with Maternal Grandparents：A Longitudinal Study of Family Structure and Pubertal Status Effects. Child Development 1992；63, 1404-1422.

〔Summary〕

This study investigates the mediating function of grandparents between adolescent granddaughters and their parents based on the questionnaire research to undergraduate university and vocational school female students. The results show that "warmth" in the parenting attitude of paternal grandmother tends to promote the sociability of granddaughters. Even granddaughters facing their parents' marital conflicts perceive "warmth" of mothers at an equal level as those without such problems do, only when granddaughters have a frequent contact with grandmothers. Meanwhile, no significant relationship is observed between grandfather and grandchildren. These findings imply that the role of mediator of grandmothers in interaction between family generations is of importance in the women's kinship.

〔Key words〕
mediation, grandparents, granddaughters, sociability, parenting attitude

Presented by Medical*Online